



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社不動テトラ 上場取引所 東
コード番号 1813 URL <http://www.fudotetra.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹原 有二
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部企画財務部長 (氏名) 山下 晃 (TEL) (03) 5644-8500
四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,110	1.5	△1,076	—	△1,378	—	△1,055	—
24年3月期第2四半期	22,769	△6.9	△1,037	—	△1,355	—	△1,075	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △1,110百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △1,117百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△6.41	—
24年3月期第2四半期	△6.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	37,219	11,772	31.3
24年3月期	43,262	12,882	29.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,641百万円 24年3月期 12,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	17.4	1,200	20.4	1,000	4.1	500	184.1	3.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	182,025,228株	24年3月期	182,025,228株
25年3月期2Q	17,540,436株	24年3月期	17,540,118株
25年3月期2Q	164,484,895株	24年3月期2Q	164,485,665株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
受注高・売上高・繰越高（連結ベース）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を中心とした内需の下支えにより緩やかな回復基調にあるものの、欧州債務問題や中国経済の成長鈍化による世界経済の減速が懸念され、景気の下振れリスクが高まるなど、先行き不透明な状況が続きました。

建設業界におきましては、復興需要が本格化するなか、業界全体の受注高は前年同期を上回る水準で推移したものの、受注競争の激化に加え、建設技能労働者や資機材等の需給悪化もあり、工事の採算性では厳しい環境が続きました。

当社グループにおきましては、中期経営計画の初年度として、課題である震災復興関連事業や全国的な防災・減災事業の受注に注力した結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は23,328百万円（前年同四半期比22.3%増）と増加したものの、手持工事の進捗遅れ等から売上高は23,110百万円（前年同四半期比1.5%増）とほぼ前年同期並となりました。

損益につきましては、工事採算性の改善や販売費及び一般管理費など固定費の削減に努めましたが、営業損失は1,076百万円（前年同四半期1,037百万円の損失）、経常損失は1,378百万円（前年同四半期1,355百万円の損失）、四半期純損失は1,055百万円（前年同四半期1,075百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの四半期別売上高は、建設業界における一般的な傾向と同様に、第4四半期に完成する工事の割合が大きく、第4四半期の売上高の割合が他の四半期に比べ、著しく高くなるという特性を有しています。従いまして、業績面におきましても同様の季節的変動特性があります。

なお、受注・売上・繰越高の状況につきましては10ページに記載しております。

当社グループの事業別概況は次のとおりで、各事業の成績は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しています。（セグメント情報の詳細については、9ページをご覧ください。）

（単位：百万円）

	受 注 高			売 上 高			営 業 利 益		
	前第2 四半期連結 累計期間	当第2 四半期連結 累計期間	増 減	前第2 四半期連結 累計期間	当第2 四半期連結 累計期間	増 減	前第2 四半期連結 累計期間	当第2 四半期連結 累計期間	増 減
土 木 事 業	6,667	10,202	3,535	12,915	12,041	△874	△107	△180	△73
地盤改良 事 業	10,483	10,713	230	8,318	9,575	1,257	△682	△743	△61
ブロック 事 業	1,885	2,450	565	1,551	1,546	△5	△293	△175	118

（土木事業）

土木事業は、受注高は前年同四半期を上回ったものの、売上高は期首手持ち受注残が減少したことにより前年同四半期比で減収となり、営業損失は180百万円（前年同四半期107百万円の損失）となりました。

（地盤改良事業）

地盤改良事業は、受注高は前年同四半期と同水準ながら、売上高は豊富な期首手持ち受注残に支えられ、前年同四半期比で増収となったものの、工事採算性の悪化から、営業損失は743百万円（前年同四半期682百万円の損失）となりました。

（ブロック事業）

ブロック事業は、受注高は前年同四半期を上回ったものの、受注時期が第2四半期中心となったことから、売上高は前年同四半期とほぼ同水準にとどまりました。また、受注増により型枠の稼働状況が向上したことで採算性が改善し、営業損失は175百万円（前年同四半期293百万円の損失）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に受取手形・完成工事未収入金等が減少したことにより前連結会計年度末に比べて6,042百万円減少し、37,219百万円となりました。

負債は、主に支払手形・工事未払金等と借入金の減少等により前連結会計年度末に比べて4,932百万円減少し、25,447百万円となりました。

純資産は、当第2四半期連結累計期間での四半期純損失の計上もあり、前連結会計年度末に比べて1,110百万円減少し、11,772百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績見通しについては、平成24年5月11日に公表しました、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,654	4,119
受取手形・完成工事未収入金等	18,356	13,986
未成工事支出金等	563	886
販売用不動産	659	651
材料貯蔵品	591	551
その他	2,701	2,389
貸倒引当金	△63	△51
流動資産合計	28,462	22,531
固定資産		
有形固定資産	6,646	6,870
無形固定資産	254	199
投資その他の資産		
投資有価証券	5,221	4,925
その他	4,925	4,799
貸倒引当金	△2,246	△2,105
投資その他の資産合計	7,900	7,620
固定資産合計	14,800	14,689
資産合計	43,262	37,219
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	15,697	13,263
短期借入金	4,715	3,003
未払法人税等	94	59
未成工事受入金等	3,222	2,248
引当金	315	338
その他	1,322	1,356
流動負債合計	25,366	20,266
固定負債		
長期借入金	1,600	1,400
退職給付引当金	1,688	1,956
その他の引当金	2	2
その他	1,724	1,823
固定負債合計	5,014	5,181
負債合計	30,379	25,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	14,756	14,756
利益剰余金	△6,754	△7,809
自己株式	△251	△251
株主資本合計	12,751	11,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28	△92
為替換算調整勘定	36	37
その他の包括利益累計額合計	8	△54
少数株主持分	124	131
純資産合計	12,882	11,772
負債純資産合計	43,262	37,219

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高		
完成工事高	20,868	21,252
兼業事業売上高	1,901	1,859
売上高合計	22,769	23,110
売上原価		
完成工事原価	19,568	20,173
兼業事業売上原価	1,119	992
売上原価合計	20,688	21,166
売上総利益		
完成工事総利益	1,300	1,078
兼業事業総利益	782	866
売上総利益合計	2,082	1,944
販売費及び一般管理費	3,119	3,020
営業損失 (△)	△1,037	△1,076
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	6	6
特許実施収入	14	13
その他	26	10
営業外収益合計	47	30
営業外費用		
支払利息	101	97
持分法による投資損失	225	160
その他	40	75
営業外費用合計	365	332
経常損失 (△)	△1,355	△1,378
特別利益		
固定資産売却益	3	33
その他	8	4
特別利益合計	11	37
特別損失		
固定資産除却損	4	34
その他	71	34
特別損失合計	75	69
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,419	△1,410
法人税、住民税及び事業税	47	42
法人税等調整額	△399	△404
法人税等合計	△351	△362
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,068	△1,047
少数株主利益	7	8
四半期純損失 (△)	△1,075	△1,055

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,068	△1,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△57
為替換算調整勘定	△2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△7
その他の包括利益合計	△49	△63
四半期包括利益	△1,117	△1,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,124	△1,117
少数株主に係る四半期包括利益	7	7

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,419	△1,410
減価償却費	389	496
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△72	△120
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	200	269
その他の引当金の増減額 (△は減少)	29	22
受取利息及び受取配当金	△8	△7
支払利息	101	97
持分法による投資損益 (△は益)	225	160
売上債権の増減額 (△は増加)	9,094	4,370
未成工事支出金等の増減額 (△は増加)	△143	△323
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,862	△2,434
未成工事受入金等の増減額 (△は減少)	△387	△974
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△539	4
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	217	583
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△471	△154
その他	138	250
小計	3,491	829
利息及び配当金の受取額	74	60
利息の支払額	△89	△94
法人税等の支払額	△55	△46
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,421	749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△101	△117
有形固定資産の売却による収入	5	48
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	9	3
会員権の償還による収入	—	43
貸付けによる支出	△7	△2
貸付金の回収による収入	14	6
その他	6	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,819	△1,712
リース債務の返済による支出	△206	△320
長期借入金の返済による支出	△184	△200
その他	2,199	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,011	△2,250
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△665	△1,537
現金及び現金同等物の期首残高	3,963	5,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,298	4,109

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土木事業	地盤改良 事業	ブロック 事業	合計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	12,810	8,281	1,370	22,462	308	22,769	—	22,769
セグメント間の内部売上 高又は振替高	104	36	181	321	121	443	△443	—
計	12,915	8,318	1,551	22,783	429	23,212	△443	22,769
セグメント利益又は損失(△)	△107	△682	△293	△1,082	△9	△1,091	54	△1,037

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険等のサービス事業等からなります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額54百万円には、セグメント間取引消去13百万円、その他の調整額41百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土木事業	地盤改良 事業	ブロック 事業	合計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	11,986	9,477	1,484	22,947	164	23,110	—	23,110
セグメント間の内部売上 高又は振替高	55	98	62	215	91	306	△306	—
計	12,041	9,575	1,546	23,161	255	23,416	△306	23,110
セグメント利益又は損失(△)	△180	△743	△175	△1,097	△6	△1,103	27	△1,076

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険等のサービス事業等からなります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額27百万円には、セグメント間取引消去24百万円、その他の調整額3百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注高・売上高・繰越高（連結ベース）

当社グループにおける事業の状況は、以下のとおりです。

(単位:百万円)

区分	期 別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		比 較	
	部 門	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
受注高	工 事	16,815	88.1	20,542	88.1	3,727	22.2
	型枠賃貸他	2,267	11.9	2,786	11.9	519	22.9
	計	19,082	100.0	23,328	100.0	4,246	22.3
売上高	工 事	20,868	91.7	21,252	92.0	383	1.8
	型枠賃貸他	1,901	8.3	1,859	8.0	△42	△2.2
	計	22,769	100.0	23,110	100.0	341	1.5
繰越高	工 事	35,370	97.8	40,135	96.7	4,765	13.5
	型枠賃貸他	811	2.2	1,359	3.3	548	67.5
	計	36,181	100.0	41,494	100.0	5,313	14.7